

第五十六回 貴族院議事速記録第二號

昭和四年一月二十二日(火曜日)

午前十時九分開議

議事日程 第二號 昭和四年一月二十二日

午前十時開議

第一 明治四十年法律第十一號中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致セマス

〔小林書記官朗讀〕

昭和三年十二月二十七日本院ハ翌二十八日ヨリ昭和四年一月二十日マテ休會スル旨ヲ政府及衆議院ニ通告セリ

同日衆議院ヨリ同院ハ翌二十八日ヨリ昭和四年一月二十日マテ休會スル旨ノ通牒ヲ受領セリ

去ル十九日政府ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

明治四十年法律第十一號中改正法律案

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、去月三十一日室田義文君都合ニ依リ請願委員辭任ノ申出ガゴザイマシタ、之ヲ許可スルコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

上會期中、醍醐侯爵公務上會期中、小笠原伯爵病氣ニ付キ十日間、男爵山内長人君病氣ニ付キ十四日間、大谷靖君病氣ニ付キ會期中、森賢吾君公務上會期中、杉田定一君病氣ニ付キ三十日間ノ請暇ノ申出ガゴザイマシタ、何レモ許可ヲ致スコトニ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 内閣總理大臣兼外務大臣田中男爵

〔國務大臣男爵田中義一君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵田中義一君) 諸君、茲ニ第五十六回帝國議會ノ開會ニ方リマシテ、政府ノ所見ヲ述ブルコトハ私ノ光榮トスル所デアリマス、昨年十一月行ハレマシタ御一代ノ大典、即位ノ禮及大嘗祭ヲ滯リナク終了セラレマシタコトハ、一二御盛德ノ然ラシム所デ誠ニ御同慶ニ堪ヘマセス、私ハ諸君

ト共ニ謹ンデ即位禮ノ當日ニ渙發セラレマシタル勅語ノ御趣意ヲ遵奉イタシ、益々勵精以テ皇運ノ隆昌ニ翼賛セムコトヲ期スル次第デアリマス、而シテ此皇室及國家ノ盛儀ニ際シ、遺憾ナク我國民ヲシテ尊皇愛國ノ精神ヲ發揮セシメ、國體ノ精華ヲ顯揚シマシタコトハ、諸君ト共ニ慶賀措ク能ハザル所デアリマス、帝國ト締盟各國トノ交際ハ益々深厚ヲ加ヘ、殊ニ御大禮ニ當リマシテ各國ノ元首政府並ニ朝野ノ諸人士ガ、我ガ皇室及國家ニ對シ熱誠ナル奉祝ノ意ヲ致サレマシタルコトハ深ク感銘スル所デアリマス、私ハ此機會ニ於テ帝國政府ノ深厚ナル謝意ヲ表スル者デアリマス、又一時御重態ニ拜聞イタシマシタ英國皇帝陛下ノ御病状ガ、昨今次第ニ快方ニ向ハセラレツ、アルコトハ、諸君ト共ニ私ノ衷心ヨリ御慶ビ申上グル所デアリマス、隣邦支那ノ時局ニ關シマシテハ、後刻外務大臣トシテ改メテ説明ヲ致ス次第デアリマス、政府ハ時運ノ進展ニ伴ヒ國家ノ隆盛ヲ圖リ國民ノ利福ヲ増大センガ爲ニ、ソレハ、緩急ヲ考慮シテ新規ノ計畫ヲ立テ、就中國民思想ノ善導、精神ノ作興ニ注意シ、產業貿易ノ振興ヲ圖ル爲ニ、財源ノ許ス限リ諸種ノ施設ヲ全ウスルニ努

本的整理ヲ行フノ方針ヲ決定シ、其過渡的施設トシテ昭和四年度ヨリ右兩稅ノ負擔輕減ヲ圖ルノ計畫デアリマス、世態ノ推移ト產業經濟ノ發展トニ從ツテ、各種社會問題ノ解決ヲ要スルモノガ少ナクナイノデアリマス、政府ハ是等ニ對シテ立法行政各方面ヨリ種々ノ社會政策ヲ講ジ、労働者災害救濟法ノ制定ヲ初メ、工場法ノ改正、公益職業紹介機關ノ整備等ヲ計畫イタシ、更ニ失業救濟ノ爲ニ土木事業ノ獎勵其他ニ付テ十分考慮イタシテ居ルノデアリマス、尙ホ財政經濟ノ事項ニ付テハ豫算案ノ當院ニ廻付セラレマシタ時ニ際シ、大藏大臣ヨリ説明イタス筈デアリマス、諸君ハ何卒政府ノ意ノアル所ヲ諒トセラレ、諸般ノ案件ニ對シテ御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス、  
引續キ外務大臣トシテ、外交問題ニ付テ御説明ヲ申上ゲマス

○國務大臣（男爵田中義一君）諸君私ハ外務大臣トシテ昨年一月本院ニ對シテ我國對外關係ノ御説明ヲ致シマシタガ、ソレ以來今日ニ至ル迄ノ外交問題ノ經過ヲ茲ニ申述ベタイト存ジマス、諸君帝國ト締盟各國トノ國交ガ益、親善ヲ加ヘ、又世界ノ平和ガ日ヲ逐ウテ其基礎ヲ固クシ、帝國ガ十分是ニ貢獻ヲ爲シツ、アルコトハ、諸君ト共ニ慶賀ニ堪ヘナイ所デアリマス、世界平和ノ點カラ見マシテ、昨年八月二十七日巴里ニ於テ調印セラレマシタ戰爭拋棄條約ハ、一ツノ重要ナル約定デアリマス、帝國ハ此重要ナル性質ニ顧ミマシテ、特ニ内田伯爵ヲ全權委員トシテ巴里ニ派遣シ、是ニ調印セシメタノデアリマス、帝國ト諸列國トノ國交關係ヨリ見マスレバ、獨逸、英領新西蘭土及「ラトイア」國トノ間ニ新ニソレバ通商條約若クハ取極ノ成立ヲ見ルヤウニナツタノデアリマス、又日露兩國間ノ新漁業協約モ、御批准ヲ了スルニ至リマシタノデアリマス、尙ホ北米合衆國トハ益、經濟的關係ガ密接トナリ、國交ノ親善ヲ深クシテ參リマスルノハ、誠ニ欣賀ニ堪ヘナイ次第デアリマス、唯數年來懸案トナッテ居リマシタ所謂排日移民法ハ、尙ホ未ダ解決ニ至ッテ居リマセヌ、其解決ハ全ク日米兩國民相互ノ諒解ニ俟ツノデアリマシテ、此諒解モ年ヲ逐ウテ深厚トナリツ、アルコトヲ確信スルノデアリマス、次ニ支那ノ状況ヲ見マスルノニ、過去十有五年ノ間殆ド絶ユルコトナカッタ所ノ戰爭モ漸ク

鎮靜ノ域ニ入リマシテ、一般ニ和平ノ氣分ガ現ハレル形勢ヲ呈スルニ至リマシタ、斯ノ如キハ常ニ隣邦ノ慶福ヲ念トスル帝國ノ誠ニ喜バシク感ズル所デアリマス、政府ハ支那國民ガ斯ル機運ヲ善用シテ、一日モ速カニ和平統一、建設の大業ヲ完成セムコトヲ望ンデ已マナイノデアリマス、是ガ爲ニハ終始一貫深甚ノ同情ヲ有シ、支那ト關係多キ列國ト協力シテ貢獻セムト欲シテ居ルノデアリマス、唯國民政府ノ前途ニハ内外共ニ幾多ノ難關ガアルノデアリマスカラ、所期ノ目的ヲ達成スルガ爲ニハ、同政府ニ於テモ、今後一層ノ自重ト穩健ナル態度ヲ以テ事ニ當ルノ要アルコトハ言ヲ用ヒヌ所デアリマス、若シ夫レ滿洲ニ關シマシテハ、同地方ガ我ト接壤地帶ナルガ爲ニ國防上、政治上極メテ重大ナル關係ニアルノミナラズ、曾テ我國ハ帝政露國ノ侵略ニ對シ、國運ヲ賭シテ同地方ノ自由ヲ恢復イタシタル歴史的關係アルガ爲ニ、我國民ノ同地方ニ對スル國民的感情ハ、支那ノ他ノ地方ニ對スルト異ナルモノアルノハ當然ノ次第デアリマス、加之同地方ニ於テハ、今ヤ百万有餘ノ帝國臣民ガ在住イタシ、幾多重要ナル權利利益ガ現存シテ居ルノデアリマス、從テ日本國民トシテハ滿洲ノ事相ニ對シ、一層深刻ナル注意ヲ拂フノハ當然デアリマシテ、帝國政府ニ於テハ固ヨリ滿洲ニ於ケル支那ノ領土主權ヲ尊重シ、門戶解放、機會均等ノ趣意ヲ確保徹底セシメテ、以テ内外人安住ノ地タラシムルコトヲ切望スルモノナルガ故ニ、此地方ノ靜謐ヲ亂シ、若クハ我ガ重大ナル權益ヲ害スルガ如キ事態ノ發生ニ對シマシテハ、之ヲ排除スル覺悟ヲ有スルノデアリマス、政府ハ是迄此方針ニ基キ、總テヲ適宜措置シツ、アル次第デアリマス、之ヲ要スルニ帝國政府ノ希望スル所ハ、日支兩國互ニ其立場ヲ理解シ、其理解ニ基キ互讓妥協ノ精神ヲ以テ、腹藏ナキ意見ノ交換ヲ行ヒ、由テ以テ從來ノ諸懸案ヲ解決一掃スルノミナラズ、更ニ一層協力シテ日支兩國民共榮ノ實ヲ擧ゲ、極東ノ平和ヲ維持シ、延イテ世界ノ文化進運ニ貢獻スルニアル次第デアリマス、以上概略ノ説明ニ依リ、政府外交方針ノ大要ヲ御了解下サツタコトト信ジマス、政府ハ今後トモ此方針ニ依ツテ、益々列國トノ友好關係ヲ増進イタシ、帝國ノ權益ヲ擁護伸張スルト共ニ、人類ノ平和ニ

〔子爵大河内輝耕君演壇ニ登ル〕

貢獻イタシタイト考ヘテ居ル次第デアリマス  
○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ通告順ニ依リマシテ質疑ヲ許シマス、子爵  
大河内輝耕君ノ登壇ヲ望ミマス

○議長（公爵徳川家達君）是ヨリ通告順ニ依リマシテ質疑ヲ許シマス、子爵  
大河内輝耕君ノ登壇ヲ望ミマス

〔子爵大河内輝耕君演壇ニ登ル〕

○子爵大河内輝耕君 通告順ニ依リマシテ、最初ニ本議場ヲ煩ハシマスコト  
ハ誠ニ恐縮ニ存ジマス、只今ノ總理ノ御演説中ニ最モ力説セラレマシテ、我  
ナリ、色々ノ施設ヲセラレタト云フコトヲ只今拜聽イタシタ、此問題ニ付テ  
總理ノ御諒解ヲ得タイト思ヒマス、先年、本議場ニ於キマシテ普選案ガ提出  
セラレマンテ、我ムハ此普選案ニ對シテハ熱心ナ賛成者ノ一人デアツタ、恐ラ  
ク此案ハ國民ノ悉ク之ニ贊成セラレタコトダラウト私ハ存ジマス、其贊成  
セラレタ趣旨ハドウデアルカト言ヘバ、ソレ以前ノ……普選ノ行ハレマス前  
ニ於キマシテハ政界ノ狀態ガドウモ思ハシクナイ、色々ナ惡評等モ行ハレ、  
實際ニアツタカドウカハ我ム素人デ能ク存ジマセヌガ、ドウモ政界ノ狀態ガ面  
白クナイト云フヤウナコトガ主ナ理由ニナリ、普選ガ行ハレタナラバ國民ノ  
權利ノ伸張ハ勿論デアルガ、政界ノ腐敗ハ之ニ依ツテ一掃セラレルモノデアラ  
ウ、是ガ國民全體ノ期待シタ所デアツタダラウト存ジマス、所ガ普選ガ行ハレ  
マシテ第一回ノ選舉ガ行ハレテ見マスルト云フト、ドウモ其普選ノ結果ヲ裏  
切ルモノガ大分多い、申ス迄モナク、昨年ノ議會ニ於キマシテハ選舉干涉ノ  
アノ大問題ヲ起シテ來テ、此貴族院ニ於キマシテ囂々タル反對ノ論ガ盛ニナ  
リ、衆議院ニ於キマシテモアレ程ノ大問題ヲ捲キ起シテ來マシテ、遂ニ當局  
大臣ハ其爲ニ責任ヲ負ハレタト云フヤウナコトヲ惹キ起シタ、其後ノ政界ノ  
情況ヲ見マスルト、是ハ餘リ事柄ガ多イノデ、一々繰返シテ此處デ列舉スル  
コトガ違……枚舉スルニ違ガナイ程ニ色々ナコトガ起ツテ來タ、悉ク是ハ國民  
之ニ付テ申上ゲ惡イノデゴザイマスガ、政府ノ行動ニシテ往々之ニ關係スル  
モノガアルヤウニ傳ヘラレテ居ルコトガ多イ、其一例ヲ申上ゲマスレバ、政

界ノ離合集散ガ極メテ不自然ノ間ニ行ハレ、其間ニ於キマシテ或ル閣僚ノ如キハ不正ナル手段ヲ以テ、不公平ナル手段ヲ以テ、其間ニ色々ノナ畫策ヲサレ

〔國務大臣男爵田中義一君演壇ニ登ル〕

タ、或ハ買收ヲ行ツタト云ヒ、或ハ政治家ノ節操ヲ蹂躪シタトカ云フヤウナ風評ガ行ハルト云フコトハ甚ダ遺憾ニ存ズル次第デゴザイマス、斯ウ云フヤウナコトハ申上ゲレバ數限リモゴザイマセヌガ、是ハマダ外ニ御質問ノ御方モアリ、又時間ノ節約上、一々ハ申上ゲマセヌ、唯我ムハ今一層、思想善導ニ於テ力ヲ入レラレルナラバ内閣自身ノ行動ニ付テモ今一層、御注意ニナル必要ハアルマイカト云フコトヲ申上ゲルニ止メテ置キマス、ソレデ外交竝

○國務大臣(男爵田中義一君) 只今大河内子爵ヨリノ御尋デアリマス、第一ニ閣僚ニ於テ思想ヲ攬亂スルガ如キ非行ノアツタト云フコトヲ御話デアリマス、私ハ決シテ左様ナコトハナイト信ジマス、次ニ昨年前文部大臣水野君ノ進退ニ付テノ貴族院ノ決議ノ御話デゴザイマス、私ハ其當時私ノ精神上、少シモ遺憾ノ無イ私ハ處置ヲ致シタト考ヘテ居ルノデアリマス、從ツテ之ニガ責任ヲ執ル又要ハナイト存ジマス、ソレダケヲ申上ゲマス

ニ皇室ノ事ハ政爭ノ外ニ置ケト云フコトハ内閣ニ於テ始終力説セラレテ居ル、是ハ始終拜聴シテ居ル、昨日モ何事カ知ラナイケレドモ、今日研究會ノ常務員カラ報告ガズザイマシタ、併シ私ハ外交又大權ノ事ノミニ限ラズ、故ラニ此貴族院ニ於キマシテ何カ政爭ノ種ヲ捲キ起スト云フヤウナコトハ、是ハ私モ…何人ト雖モ不當トスル所デゴザイマセウガ、外交竝ニ皇室ノ事、是ハ我シノ最モ尊重シナケレバナラナイ問題デアッテ、此本議場ニ於キマシテ是等ノ論議ヲシナイト云フヤウナコトハ斷ジテ賛成ヲスルコトガ出來ナイ、斯

○子爵大河内輝耕君　只今ノ御答辯ニ付キマシテハ、私ハ尙御尋シタイコト  
ガ澤山ゴザイマスガ、併シ是等ノ問題ニ付キマシテハ、今後モ此議場ニ於キ  
マシテ屢々論議サル、コトト存ジマスカラ、私ハソレ等ノ御方ニ此問題ハ譲リ  
マシテ、サウシテ若シ又其時ニ當リマシテ總理ノ御答辯ガ解シ難イ所ガアリ  
マシタナラバ、更ニ其時ニ質疑ヲ致スコトニ致シマシテ、之ニ付キマシテノ  
質問ハ此程度ニ止メテ置キマス、更ニ他ノ問題ニ付キマシテ登壇ヲ致シタウ  
ゴザイマス、宜シウゴザイマスカ

カト存ジマス、之ニ付キマシテ茲ニ總理ニ一ツ御尋ヲ致シタイコトガアル、繰

〔子爵大河内輝耕君演壇ニ登ル〕

返シテ申上グルマ、デモゴザイマセヌ、昨年水野文部大臣ノ辭職ヲセラレタ時ニ當リマシテ、優謎問題ト云フモノヲ起シタ、我ニハ是ハ大權擁護ノ上カラ容易ナラザル問題ナリト考ヘマシテ、貴族院ノ各派ガ協同シテ一ツノ聲明ガ出來タ、是ハ御承知ノコトト存ジマスルガ、改メテ讀ミ上ゲマス「聲明、水野前文部大臣ノ進退ニ關シ田中内閣總理大臣ノ執リタル措置ハ輕卒不謹慎ノ甚ダシキモノニシテ職責上缺クル所アルヲ遺憾トス」輕卒不謹慎ノ甚シキモノデアルト云フノハ誠ニ是ハ、此穩健ナ貴族院ガ斯カル言葉ヲ使ツテ總理ニ聲明ヲナスト云フヤウナコトハ、容易ナラザル事態デアル、之ニ對シテ總理ハ如何ナル責任ヲ執ラレル御覺悟デアルカ、之ニ對スル御感想ハ如何デアルカ、此點ヲ伺ヒタイト存ジマス、尙ホマダ御尋イタシタイコトガゴザイマスガ、此

○子爵大河内輝耕君　私ハ茲ニ財政問題ニ付キマシテ、總理大臣竝ニ大藏大臣ノ御諒解ヲ得タイコトガゴザイマス、主トシテ兩稅委讓ニ付テ御尋ヲ致シタイノデゴザイマスルガ、最初ニ於キマシテ其御尋ノ順序ト致シマシテ金ノ解禁ニ付テ御尋ヲ致シタイ、金ノ禁解ニ付キマシテハ今日マデ未ダ何モ御聲明ガ無イ、一度チヨット金ノ解禁ヲヤルトカ云フヤウナコトヲ御聲明ニナリマシテ、大分落チテ居ツタ爲替ガ暴騰シタト云フヤウナ事實ハゴザイマシタケレドモ、ソレ以後ソレモ立消エニナツテシマヒマシテ、爲替ハ今日ノヤウナ状态ニナリ、イツ解禁サレルヤラ様子ガ分ラナイ、只今總理ノ御話ニ依リマスト市場ハ改善サレテ來タ、今後政府ガ色ムノ施設ヲシタラバ愈々堅實ニナツテ來ルダラウ、斯ウ云フヤウナ御話デアッタ、ソレナラバ……私ハ何モ金ノ

解禁ヲシロトカ、スルナトカ、ドチラカノ説ヲ有ツテ居ル者デハゴザイマセヌ  
ガ、此解禁ニ付キマシテ今日マデ何等御言明ガ無イト云フノハドウ云フ譯カ、  
場ヲ見テ居ラレルノデアルカ、我々素人デ此邊ハ甚ダ解スルコトニ苦シミマ  
スカラ、ドウカ大藏大臣カラ此事ハ能ク分ルヤウニ我々ニ御説明願ヒタイト  
存ジマス、次ニ兩稅委讓ニ付キマシテ總理大臣ニ御尋ヲ致シタイ、此兩稅委  
讓ノ問題ト云フモノハ、近年愈々問題ガ熟シテ參リマシタガ、大分長クカラ  
此事ハゴザイマシタヤウデ、ソレデ此私ノ御尋イタシタイト云フノハ、此兩  
稅委讓ノ趣旨ガ何處ニ在ルカト云フコトヲ伺ヒタイ、初メハ是ハ地方分權ノ  
一端トシテ兩稅委讓ヲ行ハナケレバナラスト云フコトヲ言ハレタヤウニ存ジ  
マスルガ、其後色々ニナツテ來タ、或ハ是ハ負擔ノ……地方民ノ負擔ノ輕減デ  
アルト云ヒ、或ハ產業立國デアルト云ヒ、或ハ稅制ノ整理デアルト云ヒ、或ハ  
地方ニ獨立ノ財源ヲ與ヘルノデアルト云ヒ、色々ナコトヲ言ハレテ居ルノデ、  
何ノコトヤラ我々適從スルニ苦シム、是ハ抽象的ノコトヲ伺フヤウデゴザ  
イマスガ、具體的ノ效果ニ至ツテ……具體的ニ之ヲ實際ニ案ヲ立テルニ當リマ  
シテ、大ナル差ヲ生ズル次第デゴザイマスカラ、先づ此政府ノ見ラル、所ノ  
趣旨如何ト云フコトヲ、總理大臣ヨリ伺ヒタイト存ジマス、次ニ大藏大臣ニ  
伺ヒタイノハ此兩稅委讓ト公債ノ關係デアル、今後ノ財政計畫ヲ見マスルト  
年々公債ハ多額ニ増發サレテ居ル、今年モ……昭和四年度ノ豫算ニ於キマシ  
テモ九千百万圓、ソレカラ五年度ニ於キマシテモ八千六百万圓ト云フヤウニ  
ズット増發サレテ居リマスル、是ハ政府ノ御説明デハ地租委讓ニ因ル結果デハ  
算ト、ソレカラ之ヲ完全ニ地方ヘ委讓サレタ所ノ昭和七年度ノ豫算、是ト比  
べテ二ツ見マスルト云フト其狀態ハ明カニナツテ來ル、即チ地租委讓ガ完成サ  
レマスルト言フト、ソレニ依ツテ生ジテ來ル所ノ缺陷ハ約八千万圓デアル、ソ  
ナイ、斯ウ云フ御説明デゴザイマスルガ、段々政府ノ仰シャル所ヲ伺ツテ……  
レニ付キマシテドウ云フ風ニナツテ居ルカト云フト、自然增收其他減債基金……

…或ハ減債基金ノ繰替ヘ、色々モノヲ合セテ九千万圓ト云フモノヲ出シテ  
居ル、ソレデソノ位ノモノガアルカラ缺陷ヲ補ヘルヂヤナイカト云フ、斯ウ  
ルモノヂヤナイ、財政計畫ト云フモノハ外ノ歳入歳出ノ増加ヲスッカリ見テ  
見ナケレバ分ラナイ、ソレデ全體ヲ通覽シテ見マスト云フト、七年度ニ於キ  
マシテハ、尙ホ此外一般歳出ノ増加ガ一億バカリアルヤウニ見エマス、昭和  
二年度ニ立テラレタ計畫ニ對シテハ、一億バカリノ缺陷ガアル、之ニ對シテ  
ハ其歳出ノ増加ニ伴ツテ、二千萬圓バカリノ増加モアルヤウデアリマスガ、其  
外ニ公債ガ七千二百万圓ト云フモノガ計上サレテ居ル、ソレヲ此七千二百万  
圓ハ或特別ナ用途ガアルカラ、其用途ノ爲ニヤツタソダ、斯ウ云フ御說明デゴ  
ザイマセウガ、此財政計畫ヲ通覽シテ見ルト云フト、此七千二百万圓ト云フ  
モノヲ募集ヲシナイト云フコトニスレバ、茲ニ地租委讓ト云フモノハ到底行  
フコトガ出來ナイ、又反對ニ考ヘテ、地租委讓ニ依ル所ノ、地租委讓ヲヤラ  
ナケレバ、缺陷ノ八千万圓ト云フモノハナイノデスカラ、七千二百万圓ノ公  
債ヲ募集スル必要ガナクナツテ來ル、是ハ御認メニナルデアラウト思フ、即チ  
地租委讓サヘヤラナケレバ、帝都ノ復興事業ハ行ハレテ居ツテモ、或ハ電話ノ  
方ニ收入ガ必要デアツテモ、何モ募債ニ依ラナイデ普通歳入ノ支辨デ行ツタ、即  
チ言葉ヲ換ヘレバ、此公債募集ト云フモノハ地租委讓ヲヤツタカラ、地租委讓  
ト云フモノガアルカラコソ出來タノダ、斯ウ言ツテモ私ハ差支ヘナイヤウニ考  
ヘル、此點ヲ御諒解ヲ得タイト思フ、次ニ此地租委讓ト云フモノハ、増稅ヲ起  
スモノデナイト云フコトヲ極力言ハレテ居リマスガ、是モ如何カト思フ、即チ  
簡單ニ申シマスガ、今度ノ計畫デハ地方稅ヲ大分減少サレテ居ル、地方稅ヲ  
負擔ノ輕減ダト云ハレマスガ、ドウモ併シ之ヲ稅率ノ上カラ見マスト、サウ  
スノデ、地租、所得稅ヂヤナイ…地租、營業收益稅ガ減少ニナリマスノデ、  
減少サレテ居ルカラ是ハ負擔ノ輕減ダ、又地租、所得稅モ多少減少ニナリマ  
スノフ風ニ見ラレナイ、何處デアルト云ヘバ、假ニ例ヲ地租ニ取ツテ見ルト、成

程地租ガ委讓ナレマシタ以上ハ、税率ハ法律デ極マルコトデゴザイマセウ、併シ税率ハ法律デ極マルニシテモ、其課稅標準デアル所ノ貨貸價格ト云フモノハ、是ハ府縣ノ決定ニ讓ルコトニナル、府縣ノ決定ニ讓ル以上ハ、是ガ決定ト云フモノハ帝國議會ノ干涉ヲ許サナイ、是ガ國稅デゴザイマスレバ、帝國議會ニ於キマシテ、豫算ヲ審議シ、或ハ法律案ヲ審議スルコトニナッテ、此貨貸價格ノ變ヘ方モ審議スル、參與スル餘地モアリマスガ、是ガ委讓ニナリマシタ以上ハ、是ハ地方ノ勝手ニヤレマスカラ何トモ致スコトガ出來ナイ、即チゲルコトガ出來ルト私ハ思フ、即チ此稅ト云フモノハ一時ハ減稅ノ形ニ見エマシテモ、實ハ增稅ノ關門ヲ打破スルモノデ、帝國議會ト云フ租稅增徵ノ關門ヲブチ壞ハス所ノ一つノ方法デアルト云フコトニ考ヘラレマス、次ニ歲出豫算ニ付テ御尋ヲ致シタイ、主トシテ海軍大臣ニ御尋イタシタイ、海軍ノ將來ノ計畫ニ付キマシテハ、是ハ何人モ非常ニ憂フル……憂フルト云フコトモナイガ、重大ニ考ヘテ居ルコトダト存ジマス、ソレデ豫算ヲ見マスト昭和六年度マデハ、年割額ガ繼續費トナッテ計上サレテ居リマスガ、七年度以降ハ何ニモナイ、之ニ付キマシテ、何カ財源デモ留保サレテ居ルカト云フヤウニ考ヘテ見マスト、チヨット承リマス所ニ依ルト、五六千万圓、年ニ、年額ガ留保サレテアルヤウニ承ッテ居ル、ソレデ此五六千万圓ト云フモノデアリマスト云フト、私甚ダ素人デ分リマセヌガ、ドウモ補助艦ダケデモ足リナイヤウデアル、若シ主力艦マデ入レルトナルト、三分ノ一位ノモノヂヤナイカト思フ、斯ウ云處デ公約ノヤウニナリマシタ所ノ下士卒ノ優遇問題、此下士卒ノ優遇ニ付キマシテハ、四年度ニ僅カ二百四十万圓ノ經費ガ計上サレテ居ルバカリデアリマスガ、是ハ果シテ斯ンナモノデアリマセウカ、更ニ大キナ計畫ガナケレバナラヌ、何デモ一二三千万圓ト云フコトデゴザイマシタガ、其計畫ハ伺ハナイデモ宜シウゴザイマスガ、多額ノモノガ是ハナクテハナルマイト思ヒマス、凡

ソノ御見込ニ付キマシテ、コンナコトデ宜イノカドウカト云フコトヲ、陸軍大臣ナリ、海軍大臣ナリ、其所管ノ大臣カラ承リタイ、尙ホモウ一ツ内務大臣ニ御質シシタイノハ、社會政策ノコトデアリマス、社會政策ハ今後ニ付キマシテハ色ムノ施設ガアルヤウデアリマス、施設ガアルヤウデアリマスガ、豫算ノ上カラ一向此社會政策ト云フモノガ現ハレテ居ラナイノデ……現ハレテハ居リマスガ甚ダ少イ、今後大キナ社會政策ノ爲ニ費用ヲ投ジナケレバナラヌコトデアラウト存ジマスガ、内務大臣ハ如何ナル之ニ付テ御考ガアルデアラウカ、特ニ此點ヲ伺ヒタイ、殊ニ此社會政策ニ付テハ、私が伺ヒタイト申上ゲマスノハ、此稅制整理ハ社會政策ノ一端デアル、社會政策ニ反シタ所ノ戶數割ダトカ、雜種稅ダトカ云フヤウナモノヲ廢スルノガ、此稅制整理ノ一端デアルトマデ三土大藏大臣ガ言ハレタ以上、積極的ノ社會政策ヲ施設スルト云フコトハ、此内閣トシテハ最モ重キヲ置カナケレバナラヌト存ジマスカラ、其意味ニ於テ御尋ヲ致ス次第デアリマス、尙ホ此歲出ノ點ニ付キマシテ大歲大臣ノ御諒解ヲ得タイノハ、歲出ニ付キマシテハ、論議スベキ點ハ斯シテニ澤山色ムアル、ソレデ大藏大臣ハ是ハ財政計畫ニハ書イテナイノダ、斯シナモノヲ一々財政計畫ニ書イテ居タラバ、財政ナンカハ立チヤシナイト云フヤウナ御話デゴザイマセウケレドモ、ソレハ財政計畫ヲ立テル事務官トシテハ、ソレハソレデ宜シウゴザイマセウ、經費ノ極マラナイモノヲ書キヤウモナイ、併シ大藏大臣トシテ財政計畫ヲ立テラレルニ當リマシテハ、此莫大ナル海軍ノ費用又可ナリ大キナ金ヲ持ッテ行カレル所ノ社會政策ニ對シマシテ、何カ御腹案ガナイコトハナカラウト思フ、是ハ其費用ヲ公債支辨ニ移シテヤウナ、凡ソノ御腹案ガアツテモ然ルベキコトト思ヒマス、是モ併セテ伺ヒタラウトカ、或ハ又稅ヲカケル、稅ヲカケルナラバ斯ウ云フ稅ヲカケルト云フヤウナ、凡ソノ御腹案ガアツテモ然ルベキコトト思ヒマス、是モ併セテ伺ヒタリハ、當局ニ於キマシテハ此事業ハ非常ニ窮迫デアル、窮迫デアルト云フコトヲ力説サレテ居ル、先日研究會ノ事務所ニ於キマシテ、此點ガ問題ニナリマシタ時ニ、其點ヲ特ニ力説サレタ、併シ私ハ時間ガゴザイマセヌデ、御尋

ヲ致ス機會ヲ得マセヌデシタケレドモ、窮迫ト云フノハ如何ナル點ヲ言ハレルノカ、其處ガ分ラナカッタ、段々内容ヲ研究シテ見マスト云フト、ソレハ趣旨カラ、抽象的ノ議論トシテハ色ムナコトモゴザイマセウケレドモ、具體的ニ考ヘテ見ルト云フト、地方財政ヲ緩和スルコトデアラウト思フ、ソレデ地方財政ノ緩和デアルト致シマスレバ、是ハ何モ税制整理ヲサウ御急ギニナル必要モナイヤウニ思フ、政府ハ歳出調査會ヲ設ケテ、サウシテ地方ノ負擔ヲ減ジヤウト云フヤウナ御話デアル、ソレダケ大掛カリデ歳出ノ整理ヲサレタナラバ大分其整理ハ出來ヤウト思フ、此地方財政ニ、此度ノ兩税委讓ニ依リマシテ地方税ノ減ゼラレル額ハ約五千万圓、所謂社會政策ニ反スル所ノ税ヲ減ジヤウト云フ、ソレヲ以テ振リ向ケヤウ、斯ウ云フ御考ノヤウニ察セラレル、其中ニハ或地方税ノ權威者ノ御話ニ依レバ、コンナニ慌テ、一時ニ立派ニ整理サレタ戸數割ナドヲ、社會政策的ノ税デナイナドト言ッテ今廢スル時代、デモナイ、減少スル時代デモナイ、輕減スル時代デモナイト云フヤウニ言ハレテ居リマスガ、ソレハ暫ク別ト致シマシテ、五千万圓ヲ唯減ズルニシテモアレダケノ大キナ歳出調査會ヲ立テラレテ、サウシテ調査セラレタ以上ハ五千万圓ヤ七千万圓ノ歳出減少ガ出來ナイ筈ハナイト思フ、ソレデ又内容ニ少シ立入ツテ見マシテモ、斯ウ云フ風ニ地方財政ガ膨脹シタ原因ハ、ソレハ地方ガ贅澤ト云フ原因モ一つハゴザイマセウガ、一つハ國務ヲ背負ハセ過ギル、日本ノ自治體ニ於キマシテハ大部分ガ委任事務デアツテ固有事務ガ少イ、固有事務ハ工營事業位ノモノデアル、工營事業ハ暫ク措キマシテモ委任事務ノ範圍ガ非常ニ廣イカラ、此委任事務ノ經費ノ負擔ヲ中央ニ移シテシマヒサヘスレバ是ハ何デモナイ、教育費國庫負擔ニ付キマシテハ、大藏大臣ノ御意見ヲ度ム同ヒマシタガ、此以外ニモダ澤山ニ國務ハアルト思フ、委任事務ハ多イト思フ、是等ヲ整理サレタナラバソレ位ノ負擔ハ譯ナク出テ來ルト私ハ考ヘル、ソレデ何モ今日之ヲ決メテ、兩税委讓ノヤウナコトヲ御決メニナツテ、サウシテ六年度カラ御實行ニナラナイシテモ、今日此歲出調査ノ歩ヲ進メラレバ此輕減ハ六年度カラデモ實行ハ出來ハシナイカト私ハ考ヘテ居ル、以上

ハ大藏大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイト存ズルノデアリマス、次ニ此問題ニ付キマシテ總理大臣ノ御諒解ヲ得タイ、只今御聽キノ通リ……マダ私ニ澤山ノ問題ガゴザイマス、マダ是カラ税ノ内容ニ立入りマシテ御尋ヲ申上ゲマスレバ、澤山ノ問題ガ山積シテ居ル、ソレデ市場ノ狀態ハ大分改善セラレタヤウニ仰シヤイマスケレドモ、ドウモ先程申述ベマシタ金ノ解禁ノ出來ナイ所ヲ見ルト、何ダカ緩和サレタヤウニモ考ヘラレナイ、ソレカラ本案ガ是ガ十分國民ニ了解セラレテ居ルカドウカト云フコトヲ考ヘテ見ルト、一向了解セラレテ居ラナイ、無論、與黨ナドデハ先年來、問題ニナツテ居リマスケレドモ、是ガ果シテ能ク研究シテ出来タモノガアルカドウカト云フコトハ疑ハシイ、唯、地租委讓ヲヤルガ宜イト云フダケノコトデハイケナイダラウ、現ニ其一例ヲ申上げマスレバ、地租委讓ニ依リマシテ社會政策ニ反スル税ヲ減ズル、ソレデドノ税ヲ幾ラ減ズルノカト云フコトニナルト、此御調バナドハ未ダ御發表ニナッテ居ラナイ、我ムハドウシテ議論ヲ立テ、宜イカ、ソレスラ分ラナイ、又申ス迄モナク、此税制整理案ハ豫算ノ歳出ニ對シテ、昭和四年度ノ豫算ノ成立ニ付キマシテハ別ニ關係モナイ、斯ウ云フヤウナ性質ヲ持ツタ案デアル、コンナヤウナ案デアルニモ拘ラズ、之ヲ急速ニ、今日此際ニ御提案ニナツテ、急ニ之ヲ通サウト云フヤウナ御考ガアルト云フヤウナコトハ少シ解スルコトヲ得ナニ、先刻モ支那ノ外交其他ノ外交問題ニ付キマシテ色ム憂慮セラレルコトヲ諄々ト總理大臣ガ御話シニナリマシテ、又我ムモデス、此點ニ付キマシテハ實ニ重大ナ事ダト考ヘテ居ル、國難國難ト云フ言葉ハ度ム使ハレマスケレドモ、近頃此數ヶ月ニ於キマシテ、外交ト云フモノハ實ニ國難ニ面シタ、少シ言葉ハ激シイカ知レマセヌガ、昔我ムガ、マダソレハ子供ノ時代デゴザイマスケレドモ、日露戰爭ノ前ニ直面シテ、國民ガ非常ニ緊張シタ狀態ニアツタ、スケレドモ、日露戰爭ノ前ニ直面シテ、國民ガ非常ニ緊張シタ狀態ニアツタ、ルニ斯ウ云フヤウナ狀態デアルニ拘ラズ、斯ウ云フ急迫デナイ所ノ案ヲ舉ゲラレテ、サウシテ是カラ此論議ノ爲ニ色ムノ紛争ヲ貴衆兩院ニ起サセルト云フコトハ、何カドウモ政府ニ於キマシテハ、此外交切迫ノ狀態ヲ憂フル、時

局ヲ憂フルコトガ、我ム程憂ヘテ居ラレナイヂアルマイカト云フヤウナ感ガ無キヲ得ナイ、併シ今更撤回ノシヤウガナイヂナカト云フヤウナ、御話モゴザイマセウガ、是ハ先日研究會ノ事務所ニ於キマシテ渡邊子爵ガ此點ニ付キマシテ、大藏大臣ニ説明ヲセラレタ、即チ先程モチヨット申述ベマシタ通リニ、財政ノコトハ歳出ガ先デアルノダ、歳出ノ整理ヲ先ニシテ、ソレカラ後ニ金ガ要ルカラ兩稅ヲ委讓シロト云フコトナラバ、ソレハ其時ニ當ツテ相當審議シヤウケレドモ、歳出ノ整理モシナイデ置イテ、是カラヤルノダト云フヤウナコトデ、兩稅ノ審議ヲヤルト云フヤウナコトデハ、我ムハ内容ニ立入ツテ之ヲ審議スルダケノ勇氣ハナイ、寧ロ歳出ノ整理迄待ッタラドウカト云カラ言ヒマシテモ斯ウ云フヤウナ問題ハ先ヅ御見合セニナツタ方ガ宜カラウカト考ヘマスルガ、此事ニ付キマシテ總理大臣ノ御諒解ヲ得タイト思ヒマス

## 〔國務大臣男爵田中義一君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵田中義一君) 大河内子爵ヨリノ御尋ニ付キマシテ、私ノ關スル限リニ於テ御答辯ヲ致シマス、兩稅委讓ノ目的ハ地方ノ自治體ニ獨立ナ財源ヲ與ヘ、其財政的基礎ヲ鞏固ニシテ、自治體ノ健全ナ發達ヲ促スト云フコトハ、兩稅委讓ノ目的デアリマス、ソレカラ此地租委讓云々ト云フコトハ決シテ是ハ一夜作リノ案デナイト云フコトハ、御記憶デアリマスカ知レマセヌガ、原内閣時代ニ朝野ノ名士ヲ集メテ、財政經濟調査會ト云フモノガ出來テ審議セラレタノデゴザイマス、其時ニ委員ニ於テ決定セラレタノガ即チ地租委讓デアリマス、又之ヲスルト云フコトガ不急ニ非ザルカト云フ御尋ノヤウデアリマス、私ハ今日内外ノ形勢ヲ見マスルノニ、我ガ國民ノ思想意思ヲ健全ニ導クト云フコトニ付テハ、自治體ノ基礎ヲ鞏固ニスルト云フコトガ最モ急務デアルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス

## 〔國務大臣三土忠造君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(三土忠造君) 大河内子爵ノ御質問ニ、私ニ御問ヒニナリマシタ點ダケヲ御答ヘ致シマスガ、第一ハ金解禁ノ問題デアリマスガ、此問題ハ申

ス迄モナク、我國ノ財界ニ於ケル最モ重要ナル懸案デアリマシテ、當院ニ於キマシテ議會ノ劈頭ニ御質問ガアリマスコトハ御尤ト考ヘマス、此問題ハ重要ナダケ餘程慎重ニ考ヘナケレバナラヌ問題デアリマス、固ヨリ金ノ輸出ヲ禁止シテ置クト云フコトハ變態ノ措置デアリマスガ故ニ、成ルベク速ニ之ヲ常態ニ復スルト云フコトニ付キマシテハ、理論トシテハ何人モ異存ハナイノデアリマス、政府ニ於キマシテモ此金ノ解禁ニ依ツテ財界各方面ニ對スル影響ガサウ甚ダシクナイナラバ、成ルベク速ニ斷行イタシタイト云フ意思ヲ持ツテ居リマスコトハ、屢々聲明イタシマシタ通リデアリマス、併ナガラ金解禁ヲ致シマシテ、爲替相場ノ激變ニ依ツテ金融界、事業界其他各方面ニ及ボシマスル影響ノ重大ナルコトヲ考ヘマスルト云フト、餘程慎重ニ考慮ヲ拂ハヌケレバナラヌノデアリマス、政府ハ成ルベク速ニ解禁ヲ實行スル方針ヲ以テ絶エズ居ル次第デアリマス、今日的確ニ明瞭ニ、之ヲ具體的ニ申スト云フコトハ避ケタイト存ジマス、ソレカラ兩稅ノ委讓ト公債トノ關係ニ付キマシテ御質問ガアリマシタガ、兩稅ノ委讓ト公債トハ關係ガナイト御了解ヲ願ヒタイノデアリマス、第一ニ帝國鐵道特別會計ヲ初メ、植民地各特別會計ノ財源タルベキ公債ハ一般會計ト何等交渉ガナイノデアリマスカラ、是ハ無關係デアリマス、一般會計ニ於キマシテ地租委讓ト、營業收益稅ノ撤廢ヲ致サザルモノト見テノ是マデノ計畫ニ依リマスルト云フト、震災善後費ノ中デ帝都復興事業ノ財源ハ大體ニ於テ公債ニ依ルコトハ御承知ノ通リデアリマス、新タニ震災復舊費ニ付キマシテ公債財源ニ依ルコトニ致シタノデアリマス、又電話ノ擴張財源ニ付キマシテ大體公債ニ依ルコトニ致シタノデアリマスガ、電話ノ方ハ是マデハ架設希望者ニ對シテ實費ノ納付ヲ命ジテ居ツタノデアリマス、是ハ御承知ノ通リ震災前ヨリ致シマシテ、電話ノ擴張財源ハ公債ニ依ルコトニ致シ、多クナリマスカラ、一時之ヲ停止イタシマシテ其代リニ極メテ變態ノ處置デア電話事業公債法ナルモノハ帝國議會ノ協賛ヲ經マシテ現存シテ居ルノデアリマス、然ルニ大正十二年ノ關東大震災ノ爲ニ震災善後處置ニ要スル公債ガ

アリマスガ、電話ノ擴張ノ實費ヲ架設希望者カラ取ルト云フコトニ致シタノデアリマス、然ルニ今日ニ於テハ最早此變態ヲ改メテ常道ニ復スル、實費ヲ支辨セシメズシテ、架設者ニ何等ノ負擔ヲ負ハサヌヤウニ、漸次ニシテ行クト云フ方針ヲ立テマシタ爲ニ、是マデ電話架設希望者ヨリ納付イタシテ居リマシタル實費ニ代ルベキモノヲ大體公債ニ依ルコトニ致シタノデアリマス、是ハ地租委譲若クハ營業收益稅ノ撤廢トハ何等關係ノナイモノデアリマス、唯殘リマスノハ震災復舊費ノ財源ニナル公債デアリマスガ、是亦震災復舊費ハ帝都復興費ト共ニ公債財源ニ依ルコトニナッテ居ツタノデアリマスガ、財界ノ都合ヲ見マシテ、一時之ヲ普通財源ノ支辨ニ移シテアリマシタ、然ルニ今日ニ於キマシテ斯ノ如キ非常ノ災害ニ依ツテ急激ニ國庫ノ負擔ガ増シマシタ場合、財源ノ一部ト致シマシテ公債ニ依ルコトハ何等差支ガナイト考ヘマスルガ故ニ、之ヲ公債ニ移シタノデアリマス、併シ是ハ申ス迄モナク數年間ニシテ結了スル問題デアリマス、永久ニ國庫ノ收入ヲ減ズベキ兩稅委譲ト是亦關係ナイノデアリマス、ソレカラ第三ニハ地租委譲、營業稅委譲ノ結果トシテ、地方稅ニ於テ相當多額ノ減稅ヲスル計畫ニナッテ居ルガ、併ナガラ事實ニ於テハ減稅ニナラナイ、却ツテ增稅ニナルデヤナイカト云フヤウナ御意見ヲ承ハリマシタ、何レ稅制案ガ本院ニ廻付ニナリマシタ際ニ詳細ニ申上ゲル積リデアリマスガ、大體申上ゲマスト云フト兩稅委譲ニ依ツテ、土地ノ所有者、營業者此兩方面ニ對シテ負擔ヲ輕減スル上ニ、戸數割、家屋稅、雜種稅ノ輕減ヲ致シマスルモノヲ合セマスルト、九千三百万圓ノ減稅ニカルノデアリマス、此減稅ヲジテ逆ニ増稅ニナルト云フコトハ、私ハドウモ考ヘラレナイフデアリマス、若シ歲計ノ膨脹ヲ見テ是ハ增稅デアルト云フナラバ、今日ノ儘ニ致シテ置キマシテモ矢張リ增稅ニナルノデアリマス、地方ノ財政ノ膨脹ガ阻止出來ナイ其結果トシテ、自然ニ地方ノ負擔ガ重クナルト云フナラバ、稅制ノ整理トハ何等關係ナイノデアリマス、今日ノ儘ニ致シテ置キマシテモ増スカモ知レヌノデアリマス、然ルニ茲ニ九千三百萬圓ト云フ減稅ヲ致シマスルト云フト、茲ニソレダケハ直チニ減稅ニナルノデアリマス、而シテ將來ニ向ヒマンテハ、

今日マデ各稅ニ對シテ制限ヲ加ヘテ置クト同様ナ方法ニ依ツテ、新稅ニ對シテ制限ヲ加ヘマスカラシテ、此範圍内ニ於テ私ハ地方自治團體ノ財政ニ切盛リハ出來ルト考ヘテ居リマス、從ツテ增稅ノ結果ニハナラヌ、又地方財政ノ膨脹ハ近年頗ル甚ダシク、是ガ抑制ニ付キマシテハ政府ニ於キマシテモ相當考慮シテ居ルト聞クガ、然ラバ何故ニ此調査ヲシテ、地方財政ノ膨脹ヲ防イデ、其結果ヲ見テ稅制ノ整理ヲ致シタラ宜イデヤナイカ、地方財政ノ膨脹抑制ノ方法ヲ講ゼザル前ニ稅制ノ整理ヲシテ、輕減ヲスルト云フコトハ物ノ順序ヲ誤ツテ居リハセヌカト云フヤウナ御意見モ承ハリマシタガ、私共ハ國稅地方稅ヲ通ジテ稅制ヲ整理イタシ、殊ニ地方稅ニ對シテ獨立確實ナル稅源ヲ與フルト云フコトハ、今日ノ稅制制度ガ宜シクナイト云フ所カラ出發イタシタノデアリマス、即チ今日ノ地方稅ハ大體ニ於キマシテ、主ナル稅ハ國稅トシテ取ツタ、地方稅ト致シマシテ殘シテアルモノハ少イノデアリマス、是ガ爲ニ地方稅ノ負擔ノ公正ヲ失シ、是ガ爲ニ社會上面白カラザル現象ガ起リツ、アルコトヲ私共ハ憂慮イタシテ居リマス、故ニ地方財政ノ抑制ヲ一面ニ於テ努メマスルガ、是ト共ニ稅制ノ根本ヲ立直シテ、地方自治體ニ確實鞏固ナ財源ヲ與ヘ、地方自治體ノ自治ノ精神ヲ健全ニ發達セシメル、是ガ根本デ、基礎デアリマスルガ故ニ、財政ノ抑制ノ方法ヲ講ズルト相並ンデ行クベキモノト考ヘテ居リマス、私ニ關スル御質問ハ是ダケト考ヘマス、尙ホ社會政策ノ問題ハ現内閣ノ重キヲ置ク所デアツテ、此社會政策ヲ遂行シテ行クニハ相當ナル、巨額ナル財源ヲ要スルノデアリマス、之ニ付テハ大藏大臣トシテドウ考ヘテ居リカト云フ御質問ガアツタ思ヒマス、社會政策ニ付キマシテハ、先づ具體的ノ案ガ極リマシテカラ、他ノ必要ナル費目ト共ニ比較考慮シテ緩急ヲ計ツテ、查ヲ致シテ居リマス、併ナガラ財政ノ立テ方ト致シマシテハ、先づ具體的ノ案ガ極リマシテカラ、他ノ必要ナル費目ト共ニ比較考慮シテ緩急ヲ計ツテ、

財政ノ許ス範圍内ニ於テ施設經營シテ行クト云フコトガ本則デアリマス、マダ決定イタシマセヌモノニ對シテ、將來財源ヲ保留スルト云フコトハ、今マハ研究調査ノ上、具體的方案ガ極リマシタナラバ、之ニ對シテ相當考慮イタ

シ、他ノ經費ヲ節約イタシマシテモ之ガ遂行ヲ期サナケレバナリマセヌ、是等ハ總テ具體的ノ問題ガ極<sup>ツ</sup>テカラ、財政計畫ヲ立テルモノト御承知ヲ願ヒタインデアリマス

## 〔國務大臣岡田啓介君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(岡田啓介君) 大河内子爵ノ御質問ハ、兩稅委讓ノ結果七年度以降ノ國防充實上必要ナル艦艇補充費ニ充當スベキ財源ガ少クハナイカ、斯ウ云フ御質問デアッタト伺ヒマス、國防ノコトハ非常ニ大切ナモノデアリマスカラ、之ガ充實ニ必要ナル財源ハ、大藏大臣ガ相當ニ考慮シテ居ルノデアリマスカラ、別段心配スルコトハナイト考ヘテ居リマス、是ダケ簡単ニ御答へ致シテ置キマス

## 〔國務大臣白川義則君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(白川義則君) 大河内子爵ノ御尋ネニナリマシタ下士卒ノ待遇改善問題デアリマス、之ニ付キマシテハ、理想トシテハ色<sup>ム</sup>アリマスガ、我國現在ノ財政ノ關係上、此程度ニ増額シテ貰ヘルナラバ我<sup>ム</sup>ハ満足シテ居リマス

○議長(公爵徳川家達君) 大河内子爵ニ伺ヒマスガ、大河内子爵ノ質疑ハマダ残<sup>ツ</sup>テ居リマスカ

○子爵大河内輝耕君 内務大臣ガ御答ガアルダラウト思<sup>ツ</sup>テ黙<sup>ツ</sup>テ居リマス、無ケレバ申シマス

## 〔國務大臣望月圭介君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(望月圭介君) 社會政策ニ對スル所ノ豫算ガ、豫算面ニ餘リ現ハレテ居ナイガドウデアルカト云フコトニ付テノ大河内子爵ノ御尋デゴザイマシタ、社會政策ニ付キマシテハ、政府ハ銳意努力ヲ致シテ居ルノデアリマス、其重ナルモノヲ申上ゲマスレバ、勞働者災害扶助法ノ制定ヲ致シマシテ、勞働者救助ノ範圍ヲ擴メタイト思<sup>ツ</sup>テ居リマス、又失業防止及救濟ニ關シテモ、或ハ職業紹介機關ヲ改正整理ヲ致シマシテ、公益……失業救濟事業ヲ獎勵ヲシ、其他ノ方面ニ對シテモ銳意努力ヲ致シテ居ルノデアリマス、移植民問題

ニ關シマシテモ、人口食糧問題調査會ノ答申ニ基キマシテ、ソレ<sup>ド</sup>施設ヲ講ジツ、アルノデアリマス、融和事業ニ關シマシテモ、或ハ地區ノ整理、育成獎勵、融和機關ノ設置等、具體的ノ方策ヲ講ジマシテ、差別觀念ノ撤廃ニ努メテ居ルノデアリマス、又救護問題ニ關シマシテハ、從來ノ救貧的法規ノ不完備ナルニ鑑ミマシテ、救護法ヲ制定ヲシテ、貧民救護ノ徹底ヲ期スベク、

不日法案ヲ具シテ各位ノ御協賛ヲ得タイト思<sup>ツ</sup>テ居リマス、成ルベク補助政策ニ依ラズシテ、出來得ル限り此社會政策ニ付テハ努メテ見タイト思<sup>ツ</sup>テ居リマス、尤モ只今申上ゲマシタル救護法ノ如キハ、後年ニ於テハ是ハ無論豫算ガ伴<sup>ツ</sup>テ參ラナケレバナラヌコトデアリマスルケレドモ、政府ハ出來得ル限り此社會政策ニ付キマシテハ力ヲ致シタイト思ヒ、又力ヲ致シツ、アル積リデアリマス、簡單ニ大河内子爵ノ御質問ニ對シテ御答ヲ申上ゲマス

○子爵大河内輝耕君 度<sup>ム</sup>御煩ハシヲ致シテ恐縮ニ存ジマスガ、チヨットマダ問題ニ答ヘガナ<sup>ツ</sup>テ居ラナイ點ガゴザイマスノデ、其點ダケヲ御尋ネ致シマス、大藏大臣ニ對シマシテ、私ガ金解禁ノコトヲ伺<sup>ツ</sup>タノハ、金解禁ヲ何時カラスルカト申上ゲタノヂヤナイ、今以テ躊躇シテ御言明ガナイガ、ソレハドウ云フ故障ガアルカ、總理大臣ノ御話デハ市場ガ改善サレタト云フコトヲ言ハレルノダケレドモ、市場ガ改善サレタナラバ、ドウモ解禁サレルヤウニ言<sup>ツ</sup>テモ宜イヤウニ思ハレル、私ハ素人デ解禁ガ善イトカ惡イトカ申スノデハナイガ、此市場ガドウナ<sup>ツ</sup>テ居ルカト云フコトヲ御尋ネ致シタノデス、ドウゾ是ハ分リヨク御説明ヲ願ヒタイ、ソレカラ次ニ公債ニ付キマシテハ、私ハ斯ウ云フコトヲ申シタ、委讓ノ出來マシタ所ノ七年度ノ歲計ヲ見テ見ルト云フ一方ニ公債募集金ガ七千五百万圓アリ、他方ニハ委讓ニ依ル所ノ缺陷ガシタ、公債募集ハシナクテモ濟ムヂト、一方ニ公債募集金ガ八千万圓アル、ソレナラバ委讓サヘシナケレバ公債募集ハシナクテモ濟ムヂヤナイカ、斯ウ云フコトヲ申上ゲタ、ソレカラ租稅ノコトニ付キマシテハ、増税ヲスルカシナイカトカ、増徵ヲスルカトカ云フコトヲ申シタノデハナクテ、此委讓ト云フコトハ制度上、增稅ヲ容易ナラシムルモノデアル、貨貸價格ノ決定ヲ府縣ニ委セタ以上、府縣ノ仕事ニ政府ガ直接……帝國議會ガ直接關係

スルコトハ出來マセヌカラ、是ガ國稅ニナツテ居レバ、ソレハ賃貸價格ノ決定ニ付テ議會ガ參與スベキ機會ヲ得ルケレドモ、委讓サレタナラバ其機會ヲ失フカラ、是ハ増稅ニ對スル所ノ一ツノ障碍ヲ除イタモノデアルガ、斯ウ認メテモ宜イカト云フコトヲ申上ゲタ、ソレカラ次ニ海軍大臣ニ對シマシテハ、是ハ御出デガナカッタカラ申シヤウガ徹底シナカッタカモ存ジマセヌガ、海軍ノ歲計ヲ見マスト云フト、六年度マデハ繼續費ニナツテ居リマスガ、七年度以降、即チ肝腎ナ七年度以降ニ於キマシテハ年割額ガナイ、承レバ前内閣以來、デアリマシタカ、大藏大臣カラ御話ニナリマシタ記憶シテ居リマスガ、此位ノ金デドウモ補助艦ダケデモ八千万圓モ要ル、主力艦ヲ加ヘテ來レバ其三倍モ要ルダラウト云フヤウナ狀態ニ於キマシテ、タッタ是位ノ金ヲ留保シテ置カレテ、ソレデ満足サレテ居ルノカ、財政ノ狀態ト云フモノハ、サウ急ニ金ガ要ルト云ツテモ、直ニドウスルコトモ出來ルモノデハナイ、三土藏相ハ此點ニ對シマシテハ其時ノ話ダト云フコトヲ御話ニナリマシタケレドモ、此位ノコトデ海軍大臣ガ御満足ニナツテ居ルカドウカト云フコトヲ御尋ネ致シタ、ソレカラ陸軍大臣ニ對シマシテハ誠ニ是ハ申シ兼ネマシタガ、能ク聞エマセヌデシタ、聞エマセヌデシタガ、下士卒優遇費ト云フモノハ來年度ハ二百四十万圓ノ豫算ガ計上サレテ居リマスガ、ソレニモ拘ラズ、此位ノモノデハレルノカ、其點ハ如何デアルカ、又昨年ノ様子ニ依リマスト、是ハ大分ノ額ニ上ボルヤウニ御説明ニナツテ居リマスガ、ソレニモ拘ラズ、此位ノモノデハ非常ニ少イ、此金ヲ幾ラニスルト云フコトハ私ハ御問ヒハシマセヌガ、コンナモノデ、卒マデ及ブマイガ、モット此範圍ハ擴張サレナケレバナルマイト云フコトヲ伺ツタ、内務大臣ニ就キマシテモ尙ホ多少伺ヒタイ點モアリマスガ、是ハ控ヘテ置キマシテ、先ヅソレ等ノ諸點ニ付キマシテ今一應御答辯ヲ願ヒタイ

〔國務大臣三土忠造君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(三土忠造君) 先刻、金解禁ノ問題ニ付キマシテ御質問ニ御答へ

致シタ積リデアリマスガ、只今ノ御話ニ依リマスト云フト、金解禁ノ時期如何ト云フヤウナ問題デナクシテ、財界ノ相當改善サレタノニ、尙ホ且ツ金解禁ヲ躊躇スルノハドウ云フ譯カト、斯ウ云フ御質問ノヤウニ考ヘラレマス、テモ宜イカト云フコトヲ申上ゲタ、ソレカラ次ニ海軍大臣ニ對シマシテハ、是ハ御出デガナカッタカラ申シヤウガ徹底シナカッタカモ存ジマセヌガ、海軍申シテ宜カラウト思フノデアリマス、若シ一昨年ノ金融界ノ恐慌ガ無カッタナラバ、私ハ金解禁ノ問題ハ既ニ解決シテ居ツタラウト思フノデアリマス、然ル拘ラズ、僅ニ一年有半ニシテ、私共ガ想像シタ以上ニ、財界ハ改善サレタト界各國ニ殆ド類例ノナイ程ノ大恐慌デアリマス、是ガ相當ニ安定イタシマテ、最早世間ニハ各方面ニ於テ金解禁ヲ斷行スベシト云フコトヲ要望スル程、ソレ程改善サレタノデアリマス、併ナガラ金解禁ノ問題ニ付キマシテハ、政府ハウツカリシタコトヲ申サレヌト云フコトハ、大河内子爵モ御承知デアラウト思ヒマス、先刻御引用ニナリマシタ、イツカ私ガ金解禁ヲ近イ中ニヤルヤウナコトヲ申シタ爲ニ公債ガ非常ニ下ッタ、爲替ガ非常ニ上ッタト云フコトヲ仰ツシヤイマシタガ、アレナドハ實ハ私ハ申サヌコトデアリマス、外ノ話ノ所ニチヨットサウ云フ風ニ解スルヤウナコトガチヨットデモアリマスト云フト、ア、云フ誤傳ガ傳ハルノデアリマス、此問題ニ付キマシテハ私ハ財界ハ相當ニ改善サレタガ、尙ホ金ノ解禁ニ付キマシテハ政府ハ慎重ニ考慮ヲ要スル程度デアル、斯ウ御承知ヲ願ヒタイノデアリマス、ソレカラ大河内子爵ノ御計算ニ依リマスルト、地租營業稅ノ撤廢ノ年、即チ大河内子爵ハ昭和七年ト仰ツシヤラレルノハ、昭和六年度ヨリヤリマスケレドモ、完全ニ地租ノ全部ガ行キマスノハ昭和七年度ニナル、即チ田租ノ第五期分ガ七年ニ瓦リマスコトヲ仰ツシヤルノダラウト思ヒマス、シコデ七年度ニ於キマシテ茲ニ歳入ノ缺陷ガトヲ伺ツタ、内務大臣ニ就キマシテモ尙ホ多少伺ヒタイ點モアリマスガ、是ガ即チ地租營業稅ノ撤廢ノ財源ニナツテ居ルノデハナイカ、言換ヘテ申セバ公債ニ依ツテ地租營業稅ノ撤廢ヲスルノデヤナイカ、斯ウ御質問ノヤウニ考ヘラレル、所ガ其七千万圓ト申シマスルモノハ、先刻申上ゲマシタ電話ノ擴張計畫ニ要スル財

源モ矢張リ勘定ニ御入レニナシテ居ルト考ヘラレマス、ソレハ先刻申シタ通リ別個デアリマス、併シ尙ホ大河内子爵ノ御意見ヲ藉リテ申シマスルト云フト、成程、實費支辨ノ代リデアルカラ公債ニ依ッタト云フノデアリマスガ、實費支辨ニ依ラズシテ尙且ツ普通財源デ宜イノヂヤナイカ、普通財源ニ依ッテモ

宜イノヂヤナイカ、斯ウ云フ御議論デアラウト考ヘラレマスガ、國家ノ施設

ハ隨分多イノデアリマスカラシテ、斯ノ如キハ公債財源ニ依リマシテモ、ソレ自身ノ收支計算ニ於キマシテ、優ニ元金及利子ノ償還ノ計畫ノ立チマスモノハ、是ハ財政上ノ都合ニ依ッテ公債ニ讓ルコトハ構ハヌト思ヒマス、其見地ヨリ公債財源ニ求メタノデアリマシテ、地租委讓トハ何等ノ關係ハ無イノデアリマス、ソレカラ第二ノハチヨット失禮イタシマシタガ……

○子爵大河内輝耕君 貸貸價格ヲ……地租ノ貸貸價格ヲ府縣ニ……

○國務大臣(三土忠造君) 貸貸價格ヲ府縣デ調査スルノデアルカラシテ、立法府ガ之ニ干與スルコトガ出來ナイト、從テ自由ニ増稅サレテモ仕方ガナイヂヤナイカト云フコトノ御質問ト思ヒマスルガ、是ハ國稅デアツテモ同様デア

リマス、國稅デアツテモ貸貸價格ノ決定其モノハ立法府ガ立入ラヌノデアリマス、貸貸價格ガ決マッテ其稅率ヲ決メルノハ帝國議會ノ協賛ヲ得ルノデアリマスガ、只今マダハッキリ申サレマセヌケレドモ、我ノ考デハ地方稅ニ移シマシタ上ニ此制限ハ法律ニ依ル積リデアリマス、從テ若シ貸貸價格ニ對シテ稅率ガ高過ギルト云フナラバ、何時デモ立法府デ之ニ對シテ抑制ヲ加ヘルコトガ出來ルノデアリマス、其點ハ地方ニ委讓シマシタ結果トシテ、立法府ガ干與出來ズ、自由ニ增稅ガ出來ルト云フコトハナイコト、御承知ヲ願ヒマス

〔國務大臣岡田啓介君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(岡田啓介君) 大河内子爵ノ御質問ハ海軍ノ……

〔「大キナ聲デ願ヒマス」ト呼フ者アリ〕

艦艇補充費ノ年度割ハ昭和六年度シカナイ、七年度以後ハ多額ノ金ガ要ル筈デアルガ、之ニ對シテ用意ガ少イヤウニ思ハレル、海軍大臣ハソレデ満足シテ居ルノカ、斯ウ云フ御質問ト思ヒマス、今ノ艦艇補充費ハ六年度マデ、ア

リマス、七年度以後ニナリマスト、華盛頓條約ニ依ル主力艦代艦ガ出テ來ルノデアリマスカラ、相當多額ノ金ガ要ルノデアリマス、之ニ對シテハ大藏大臣ガ考慮シテ居ルト、斯ウ云フコトデアリマスカラ私ハ何等心配ヲシテ居リマセヌ

〔國務大臣白川義則君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(白川義則君) 御尋ノ下士卒ノ待遇改善ニ付キマシテ、豫算案ニ出テ居ル額ガ如何ニモ少イデハナイカト云フ御尋デゴザイマス、軍部トシテモ研究ノ結果ハ色々希望ガアリマス、アリマスルガ國家財政ノ關係上本年ハ此程度デ満足ヲシタノデアリマス、財政ノ關係ガ宜シクナリマシタナラバ更ニ相當改善ノ途ヲ大キクシテ貰フ積リデ居リマス、尙ホ序デヲ以チマシテ申上ゲテ置キタインハ、軍部ニ於キマシテハ義務兵ノ待遇改善竝ニ廢兵ノ待遇改善ニ付キマシテ、來年度ノ豫算ニ於キマシテ審議會ヲ設置ヲシテ、是ニ於テ根本的ニ研究ヲシタイト云フ考ヲ持ッテ居リマスカラ、此事ヲ御承知置キヲ願ヒマス

○子爵大河内輝耕君 大分御意見ノ所ハ分ッテ參リマシタ、唯大藏大臣ニ重ネテ伺ヒタインハ、金ノ解禁ニ付キマシテハ、私ハ市場ノ狀況ヲドウ見ラレルカト云フ事ヲ伺ッタノデアリマス、ソレニ付キマシテドウモ餘リハッキリシタ御説明モ無イヤウニ存ジマスガ、解禁ノ出來ナイデスネ……出來ナイ原因トナツタル故障ヲ伺ッタ、マア併シ是ハ是レ以上御答ガナイモノナラ已ムヲ得ナイモノト存ジマス、ソレカラ公債ニ付キマシテハ、私ノ御尋ハ斯ウ云フ譯デアツタ、公債ヲ何ガ爲ニ募集シタカト云フ御尋デハナクシテ、此地租委讓ヲヤラナケレバ公債ヲ募集ヲシナイデ濟ム事ニナルデハナイカ、其事ヲ御尋ネシタ、ソレカラ増稅ノ事ニ付キマシテハ、今デモ貸貸價格ハ府縣デ極メルノデシ解シカネルノデ、毎度此處デ地價修正ナドハ議會ノ問題トシテ豫算モ出、法律モ出、立法府ガ其點ニ付テハ參與スル機會ガアル、ソレガ又勝手ニ政府ダケデソレガ極ツタ以上、計算ハ政府ガヤラレルケレドモ、根本ノコトハ法律

デチャント極メテアルカラ、議會ガソレヲ直スヤウニ、議會ガ其決定ニ參與スルニ對シテ、又ソレヲ直スニ當リマシテモ、豫算其他ノ關係デ議會ガ參與スル機會ヲ得ラレルノガ、是ガ府縣ニ行ッテシマッタラ、其機會ガ得ラレナクナル、斯ウ云フ話デアリマス、私ノ質問ノ趣旨ガ御分リデ御答ニナッタノナラバ宜シウゴザイマスガ、尙ホ私ノ申上ゲヤウガ惡イ爲ニ何ダトイケマセヌカラ、一應御尋ネ致シマス

〔國務大臣三土忠造君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(三土忠造君) 公債ト地租委讓、營業稅撤廢トノ關係ハ先刻申シ

タ通リデアリマシテ、大河内子爵ノ御意中ヲ想像シテ申シタノデアリマスガ、其問題……公債ノ性質如何ニ拘ラズ兔ニ角地租委讓營業稅ヲ撤廢シナカッタナラバ、昭和七年度ニ於テ七千万圓程ノ公債ヲ發行セズニ濟ムノデナイカ、斯ウ云フ御質問デアリマスルカラ、私ハサウスレバ濟ムノデアリマス、併シ

公債……、其公債ト云フモノハ、別個ノ意味カラシテ收支ノ計算ニ於キマシテ元金及ビ利子ノ償還ノ計畫ガ立ツテ居ルノデアリマスカラ、サウ云フモノハ公債ニ依ツテ宜シイ、斯ウ云フ見地カラ致シタノデアリマシテ、是ハ假令財源ノ有ル無シニ拘ラズ公債ヲ發行シテ宜シイモノト考ヘテ居リマス、ソレカラ先

刻申上ゲマシタ賃貸價格ノ問題ハ、私ハ言葉ガ足リマセヌカ知リマセヌガ、若シ地租ヲ地方ニ委譲セズシテ、現在計畫シテ居ル儘デヤルト致シマスルト云フト、前内閣時代ニ地租ハ是マデノ法定地價ニ依ルコトヲ止メテ、賃貸價格ニ依ルコトニ致シタノデアリマシテ、其賃貸價格ヲ決定シタ上デ、ドレ位ノ税率ニスルカト云フコトハマダ決ツテ居リマセヌ、ソレヲ議會デ協贊ヲスル

譯デアリマス、其時分ニ率ハ議會デ決メラレマスルガ、賃貸價格其モノハ議會デ決メヌノデアリマス、是ハ賃貸價格調査委員會デ決メシマフノデアリマス、總テ稅ハサウデアリマスルカラ、稅率ダケハ議會デ決メルノデアリマシテ、其外ノ調査決定ハ議會ニハ懸ラヌノデアリマス、ソレト同ジ關係ニ於キマシテ、是ハ地方ヘ參リマシテモ、稅率ノ制限ニ付キマシテハ議會ガ決メル、調査ハ府縣デヤル、斯ウ云フコトニナルノデアリマスルカラ、議會ガ之

ニ對シ、關係ヲスルコトハ出來ヌト云フコトハ無イノデアリマス、其點ヲ申上ゲタノデアリマス

○子爵大河内輝耕君 尚ホ伺ヒタイコトガゴザイマスガ、此邊デ止メテ置キマス

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ高橋琢也君ニ質疑ヲ許ス筈デゴザイマスガ、議事ノ都合上御異議ガナケレバ、本日ハ質疑ヲ是デ中止イタシマシテ、

本日ノ議事日程ニ入りタイト存ジマス

マス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第一、明治四十年法律第十一號中改正法律案、政府提出、第一讀會、通牒文ノ朗讀ハ本會期ヲ通ジテ御異議ガナケレバ省略致シタイト考ヘマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

〔左ノ通牒及議案ハ朗讀ヲ經ナルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス以下之ニ倣フ〕

明治四十年法律第十一號中改正法律案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

昭和四年一月十九日

内閣總理大臣 男爵 田 中 義 一  
内務大臣 望 月 圭 介

明治四十年法律第十一號中改正法律案

明治四十年法律第十一號中左ノ通改正ス

第四條ノ二中「前條ノ療養所」ノ上ニ「國立療養所及」ヲ加フ

第七條第一項第一號ヲ左ノ如ク改ム

一 癲患者ノ救護費(國立療養所ニ入ラシタル癲患者ノ救護費ヲ除ク)又ハ癲患者若ハ其ノ同伴者、同居者ニ對スル一時救護費ニシテ被

救護者又ハ其ノ扶養義務者ヨリ辨償ヲ得ザルモノ

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

参照

明治四十年法律第十一號ハ癩豫防ニ關スル法律ナリ

○議長(公爵徳川家達君) 望月内務大臣

〔國務大臣望月主介君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(望月主介君) 本案提出ノ理由ヲ簡單ニ申上グマス、國立癩療養所ハ昭和二年度以降三ヶ年繼續ノ事業トシテ、既ニ第五十三回議會ニ於テ、其建設費ノ御協賛ヲ得テ居ルノアリマス、目下工事中デアリマスガ、之ニ伴ヒマシテ現行ノ癩療養ニ關スル法律中、次ノ二點ヲ改正スルノ必要ヲ生ジタノデアリマス、即チ一ハ國立癩療養所長ニモ道府縣立療養所長ニ於ケルト

同様ニ、收容中ノ患者ニ對シマシテ懲戒又ハ檢束ノ權能ヲ與ヘルコトデアルノデアリマス、二ハ國立癩療養所ニ收容セル患者ノ救護費ハ國庫ニ於テ負擔スルヲ至當ト認メマシテ、道府縣ノ負擔ハ費用中ヨリ之ヲ除外スルコトデアリマス、是ガ改正法案ノ要旨デゴザリマス、何卒御審議ノ上御協賛ヲ與ヘラレンコトヲ御願ヒ致シマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第二、右議案ノ審査ヲ付託スペキ特別委員ノ選舉

○子爵(西大路吉光君) 只今議題ニ相成ツテ居リマスル特別委員ノ選舉ニ付キマシテ、今期議會ヲ通ジマシマシテ、特別ノ場合ヲ除クノ外、其委員ヲ九名ト致シ、此選舉ハ省略イタシテ、議長ニ一任イタシタイト存ジマス、滿場ノ諸君、御賛成ヲ請ヒマス

○子爵八條隆正君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス、特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔瀬古書記官朗讀〕

明治四十年法律第十一號中改正法律案特別委員

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス、特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

侯爵徳川 國順君 伯爵川村 鐵太郎君 子爵東園 基光君  
子爵米倉 昌達君 土方 寧君 男爵紀 俊秀君

阪本 彰之助君 富安 保太郎君 大城 兼義君

○議長(公爵徳川家達君) 議事ノ都合上、是ニテ延會ヲ致シタイト考ヘマス、御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、……未ダ散會ハ致シマセヌ、明日ハ午前十時ヨリ開會イタシマス、議事日程ハ本院彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、是ニテ散會イタシマス

午前十一時五十二分散會